

【 投 薬 】**５１９ オセルタミビルリン酸塩【カプセル】（腎機能障害患者等）の算定について**

《令和７年４月３０日》

○ 取扱い

インフルエンザが確定した次の患者の治療時におけるオセルタミビルリン酸塩【カプセル】（タミフルカプセル）１日１回 75mg の算定は、原則として認められる。なお、腎機能障害（慢性腎不全）がある患者に対する投与期間は５日間とする。

- (1) 腎機能障害（慢性腎不全）がある患者
- (2) 透析を実施している患者

○ 取扱いを作成した根拠等

タミフルカプセルは、添付文書の用法・用量に「通常、成人及び体重 37.5kg 以上の小児にはオセルタミビルとして１回 75mg を１日２回、５日間経口投与する。」と記載されているが、成人の腎機能障害患者のインフルエンザの治療においては、用法及び用量に関連する注意に、血漿中濃度が増加するため、腎機能の低下に応じてクレアチニンクリアランス（C c r）が「 $10 < C c r \leq 30$ 」の場合は、１回 75mg １日１回、 $C c r > 30$ の場合は、１回 75mg １日２回の投与法が記載されている。

また、「透析施設における標準的な透析操作と感染予防に関するガイドライン」に「透析患者に対する抗インフルエンザ薬の投与量は腎機能を勘案して行う。」、「オセルタミビルの排泄経路は腎臓であり、減量する必要がある。オセルタミビル 75mg 単回投与で、５日後症状が残っていた場合、もう１回投与する。」旨記載されている。

腎機能障害がある患者については、上記添付文書の記載より、C c r 値に応じて１日１回 75 mg を５日間投与する場合があります、また、透析患者に対する１日１回 75mg の単回投与は有用であると考えられる。

以上のことから、上記(1)、(2)の患者の治療時におけるオセルタミビルリン酸塩【カプセル】（タミフルカプセル）１日１回 75mg の算定は、原則として認められると判断した。なお、腎機能障害（慢性腎不全）がある患者に対する投与期間は５日間が妥当と判断した。